

アルストロメリア農家で広がる大麦焼酎粕の利用

【研究のポイント】

〈試験の取組の経緯〉

- ・花きグループでは、多く窒素肥料を必要とするアルストロメリア栽培に大麦焼酎粕を肥料として活用できないかと考え、利用方法の試験に取り組みました。

〈場内試験の成功 ~ 現地試験の開始〉

- ・場内試験において、1平方メートル当たり10kgの大麦焼酎粕を与えたところ、慣行栽培と変わらない収量・品質を確保
  - ・そこで、現地試験を平成28年度から竹田市で開始しました。
- ※29年度では3戸の農家が利用しています。

※「アルストロメリア」とはアルストロメリア科アルストロメリア属  
 ・名前の由来  
 スウェーデンの植物学者リンネが、親友の名前にちなんでつけたと言われています。  
 ・原産地  
 インカ帝国が栄えた南米地域原産  
 英名では、Lily of the inca (インカのユリ)と呼ばれています。

アルストロメリア

- ・大分県は、豊富な花色と独特な模様で人気の高いアルストロメリア(※)の西日本一の産地
- ・市場からは品質面で高い評価を受け、主要な供給産地として期待



(アルストロメリア)

大麦焼酎粕

- ・大分県は、日本一の麦焼酎産出県
- ・製造時に多くの大麦焼酎粕が排出
- ・この焼酎粕は、農業から見れば、肥料の可能性大

現地試験の方法



① 大麦焼酎粕を全面に施用します。



② 2週間程度、被覆します。



③ 被覆を取り、畝を耕うんします。

【研究の成果】

現地試験の結果

アルストロメリアの品種「ポエム」での試験では、焼酎粕区で収量等が増加しました。

「ポエム」の収量及び品質

品種名	試験区	収量 (本/株)	切花重 (g)	莖径 (mm)	花梗数 (本)
ポエム	慣行区	35.2	62.8	7.7	5.0
	焼酎粕区	48.0	65.5	7.9	5.4

平成28年(2016年)10月~平成29年(2017年)3月、現地試験



焼酎粕区(左)と慣行区(右)の比較写真

【生産者の声】



平成28年度から、試験的に大麦焼酎粕を肥料代わりに使いました。  
 品質も従来と変わらず、収量も増加しています。  
 来年も改植する場所で使いたいと思います。

竹田市 森さん

【連絡先】

担当:農林水産研究指導センター 農業研究部花きグループ 花きチーム  
 TEL: 0977-66-4706  
 住所:大分県別府市大字鶴見710-1